Public relations magazine SAISEI Oh! MIYA

さいせい 済生 お！おみや

わたしたち常陸大宮済生会病院と
皆さんを結ぶ広報誌

Hitachiomiya Saiseikai Hospital

新路線バス運行開始

当院経由バスが３便追加されました

特集 開院10周年イベント大盛況

- 10周年記念イベントレポート
- こんにちは! 常陸大宮済生会病院です「医療連携・相談室」
- こどもの発熱時の対応について ほか

2016 第4号 秋号

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 茨城県済生会
常陸大宮済生会病院

10周年記念イベントが無事終了いたしました

事務部　部長　賀川則夫

地域の皆様には常陸大宮済生会病院「10周年記念式典」並びに「病院まつり」に足をお運び頂きまして誠にありがとうございました。

毎週のように台風が発生している時期でございましたが、当日は奇跡的に好天に恵まれイベントは盛況のうちに終了することが出来ました。

記念式典につきましては、地域へのご案内から当日の受付に至るまで、常陸大宮市の全面的なバックアップを頂いたことで、会場であるロゼ大ホールはほぼ満席となりました。

当日司会を担当させて頂きましたが、日頃から当院を応援頂いている地域、自治体、関係機関の皆様が一同に会する機会でございましたので、ご案内や進行等に不備が無いかと最後まで緊張の連続でございました。

そのような中、橋本茨城県知事、三次常陸大宮市長より当院に対する暖かい激励のお言葉を頂き、河野病院長の後輩でいらっしゃる山元先生の感動的な講演もございました。講演後の質疑応答では、山元先生の後輩となる自治医大女子学生との質疑応答の場面では、地域医療に関わる者の覚悟を述べられる場面があり、私も目頭が熱くなりました。

一方病院まつりにつきましては、ご来場者数の予測がつかず、各飲食ブース等で完売が相次ぎ、ご来場頂いた皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

病院として初の開催でありましたが、医師を始め当院職員が一体となって汗だくになりながら、イベントや各種体験・相談コーナーを盛り上げて頂きました。普段とは違ったリラックスした雰囲気の中で、地域住民の皆さんと親しく触れ合うことが出来た素晴らしい時間でありました。

さらに、当院に初めて来院されたという皆様も多く、当院を知って頂けただけでも大収穫であったと思います。

これからも河野病院長の元、地域の皆様の信頼に応えられるよう職員一同邁進してゆく所存でございます。変わらぬご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

表紙写真について

通勤、通学、通院・買物等の利便性向上を目的とした新路線バスが平成28年10月3日より運行開始されました。

当院経由の路線も3便追加されましたので、既存の茨城交通バスおよび市民バスと併せてぜひご利用ください。

※詳しくは茨城交通ホームページをご覧ください。

開院10周年記念イベント実施報告

10th ANNIVERSARY

潜入レポート 済生おおみや記者は見た！

平成 28 年 9 月 3 日（土）に行われました常陸大宮済生会病院
開院 10 周年記念式典および病院まつりの様子をお伝えいたします。

済生おおみや記者

イベント① 開院 10 周年記念式典

ロゼホール・大ホールにて多くのご来賓の方々や市民の皆様、また市内中学・高校の生徒の皆様にご来場いただき、開院 10 周年記念式典が執り行われました。

記念式典では、河野病院長から開院 10 周年にあたり市民の皆様、開院にご尽力いただいた皆様への感謝を申し上げ、橋本茨城県知事・三次常陸大宮市長からご祝辞をいただきました。また、小島副院長により開院までの道のりと当院の紹介が行われました。

河野病院長 挨拶

記念講演では NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会　副理事長　山元　香代子 先生に「ザンビアでの辺地診療活動」と題しましてご講演いただきました。山元先生は平成 23 年 10 月からチボンボ郡ルアノ地区でモバイルクリニック（車での移動診療所）を開始し、1 年のうち半年をザンビア、半年を日本の病院勤務とし精力的に活動をされています。

安全で衛生的な環境をあたりまえのように享受しているわたしたちには、想像もできないザンビアの現状や診療活動を写真や映像を交えてご講演いただき、会場では驚きと感嘆の声が起こりました。講演後の質疑応答でもたくさんの質問が寄せられ、先生の気持ちのこもった回答をいただきとても印象深い記念講演となりました。

橋本 昌 茨城県知事

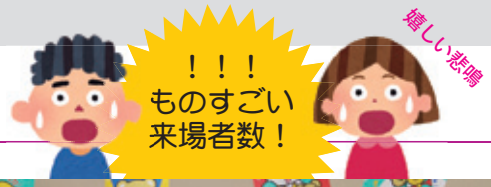
三次 真一郎 常陸大宮市長

小島副院長による「病院紹介」

記念講演　山元 香代子 先生

済生おおみや記者は驚いた！潜入レポート

記念式典終了後、「病院まつり」を取材するため常陸大宮済生会病院へ戻った記者が見たものは想像を遥かに超える光景だった。



イベント② 病院まつり

記念式典後、会場を当院に移し病院まつりが行われ、院内駐車場が満車となるほどの大勢の方にご来場いただきました。心より御礼申し上げます。

会場では「体験」「展示・相談」「健康測定」「お楽しみ」「出店飲食」とテーマを分け数多くの催しを行いました。なかでも「内視鏡操作体験」「手術糸結び体験」「調剤体験」をはじめとする体験コーナーでは、医師や薬剤師の指導のもと真剣な表情で体験する小さなお子様たちの姿が印象的でした。

特設ステージでは「職員によるベリーダンスショー」と「医師による心肺蘇生についての演劇」が行われ、ベリーダンスショーでは観覧者も参加してのダンスで大変盛り上がりました。また演劇では、医師によるユーモラスな演技に会場におおきな笑い声と歓声がひろがりました。

調剤体験

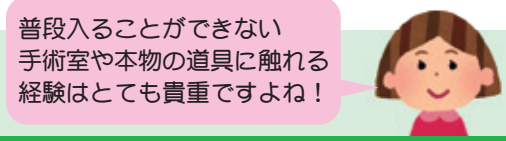
医師による心肺蘇生演劇

医師・職員によるベリーダンス

内視鏡体験

手術糸結び体験

キッズコーナー



● キッズ写真コーナー　放射線技術科　石井　満

普段は診療放射線技師として、泣いている子供や具合が悪い子供達のレントゲンを撮影する機会が多いですが、今回のキッズ写真コーナーでは白衣やナース服に着替えて笑顔で嬉しそうな子供達の撮影が多く、とても楽しい時間を過ごすことができました。

将来この中から多くの子供達が、常陸大宮済生会病院の一員として一緒に働けることを期待しています。

● 病院探検・手術室体験　看護部　石橋 幸代

無影灯に灯りがともり『では初めます。メス』緊張感が漂い機械音が響く手術室に『ＴＶと同じだ。糸結びって難しい。手袋つけるの大変』などの明るい声が響いていました。公開するからにはとことん体験してもらおうと大学から糸結び練習機を借り、麻酔器に触れてもらい、手術台に横になってもらったりしました。多くの方々に喜んでいただき、私達も充実した時間を過ごすことができました。

こんにちは！常陸大宮済生会病院です

第3回 わたしたち！医療連携・相談室です！

医療連携・相談室は、各医療機関との連携を図るとともに、疾病に関連する生活上や入院上の不安などの様々な相談等に対応しながら、患者さんとご家族を支援するところです。ソーシャルワーカー（社会福祉士）、事務スタッフが窓口となり、医療サービスを提供させていただきます。

どのような内容の相談ができるのだろうという事で、一例をご案内させていただきます。

■ 病診・病病連携

より良い医療を提供するために近隣の診療所や病院と役割を分担して、治療の継続のため連携・調整します。紹介患者さんの診察予約、検査予約、受療相談、転院相談など

■ 医療相談

様々な内容の相談窓口となっております。

退院後の行き先等に不安があれば、療養場所や福祉施設、在宅サービスについて、医療機関及び関係福祉機関と連携して支援します。

病気に罹ると様々な不安や問題が生じます。私たちは、患者さんとご家族を支えられるように、医師、看護師、リハビリスタッフなどと相談するとともに、他医療機関、公的機関、介護関連施設等とも連携しながらサポートさせていただきます。話しやすいスタッフばかりですので、「どこに相談したらいいのかな?」「どうしたらいいんだろう」と悩まれましたら、まずお気軽にご相談ください。少しでもスムーズに問題解決できるようお手伝いさせていただきます。

こどもの発熱時の対応について

小児科部長　伊東岳峰

これから本格的なかぜのシーズンに入っていきます。今回は、こどものかぜ症状、特に心配の強い「発熱」について話します

●「発熱」とは？（測る時に知っておくこと）

- 1 歳以上は **37.5℃以上**、1 歳未満は **38.0℃以上**（←乳児は体温が高め）
  （※もちろん普段の体温より高めの時は今後の上昇に注意）
- 電子体温計は予測値のため値がばらつきます。1 回のみで判断せず、数回測って判断するといいです
- 体温は時間帯で変動するので、体温表をつけるといいです（外来でもらえます）

●発熱の原因は？

- ほとんどは感染症、中でも抗生物質が効かないウィルスによる「かぜ」で、特効薬はほぼありません（抗生物質はかぜには効きません。発熱で全身状態が比較的保たれているときに抗生物質が必要なケースは、溶連菌感染やマイコプラズマ感染、急性中耳炎ぐらい）
- 「かぜ」の発熱は、体が頑張って病原体（ウィルスや細菌）を抑え込もうとする「正常な防衛反応」です。限度（41℃後半）をこえない限りはそれ程悪いものではありません。この場合、2 ～ 4 日間で発熱が少しずつ落ち着くことが多いです
- ただし、可能性は低いのですが、かぜ以外の重症感染症、感染以外の原因もありますので、次ページのような受診をお勧めします

●発熱の自宅での対応

- 適温の部屋
- 悪寒がなければ薄着（厚着で熱をこもらせない）
- 悪寒がなければ、おでこ・首回り、脇の下、お股などを冷やす
- こまめな水分摂取
- 食事がとれない ➡ 構いません。無理に取らせないで水分優先で OK ！
  （この場合、糖分・イオンの補給が不足するので、イオン水主体にすると安全です）
- 風呂は入って OK。清潔を保つことは大切で、汗を流せば気持ちよくなるので。ただし、のぼせ・湯冷めは負担なので手早く入れるといいです
- もし朝に熱が下がっても、すぐ通園・通学させるのは NG ！ 1 ～ 2 日間、解熱しているのを確認して下さい

● 発熱の 受診 の仕方

1 早めの受診が望ましい場合

① 3～4か月までの乳児で 38.0℃以上が続く

② 水分がとれない、尿が少ない

③ いつもと比べておかしなことが増える
（意識が変、肩や体で息をして苦しそう、など）

④ **けいれん**を起こす ➡ **救急車を呼んでいいです**

※ けいれん時の対応…「安全な場所か確認、救急車を呼ぶ、衣類を緩める、顔（体）を横に向け唾液・吐物による窒息を防ぐ、救急車を待つ」、余裕があれば、どんなけいれんかチェック（目つき、顔色など）

2 日中（できれば午前）の受診でもいいと思われる場合

① かぜ症状の程度が弱く、水分がとれ尿もでている、普段より少し元気がないくらい、でも心配
➡ 夜間は 1 ー①～④ がないかに注意して、心配なら翌日に受診を

② かぜ症状の程度が強い、他に心配な症状がある、など ➡ 一度は受診を

③ かぜ症状が全くない場合
➡ 発熱の原因が何かを考えてもらうべき（乳児であれば尿路感染の有無について相談が必要）

④ 発熱が4～5日間以上続く場合
➡ 単なるかぜではなく、細菌感染で抗生物質が必要な場合や他の原因による発熱の場合があるので、一度受診すべき

※ 日本小児科学会のホームページに「**こどもの救急**」というサイトがあり、症状をチェックすると、どうすべきか指示をくれます。オススメです！（対象：生後1ヶ月～6歳）

※ 迷ったら **# 8000**（小児救急電話相談）に☎して相談するのもありです

こどもの救急
http://kodomo-qq.jp/

小児救急電話相談
☎ ＃8000（シャープ）
平日（月曜～土曜）18時30分から翌朝8時
休日（日曜・祝日・年末年始）8時から翌朝8時

● 解熱薬 について

- 解熱薬はかぜをやっつける薬ではありません
- 体温を下げることで、ウィルスを抑え込もうとする体の防衛反応の邪魔になり、かぜが長引く場合もあります。
- ですので、「発熱 ➡ 解熱薬」というワンパターンな使用法ではなく、「使ったらかぜが長引くかもしれないけど、今は熱のせいで飲めない・眠れないので使おう」と、考えながら使うといい使い方になると思います
- 発熱は必ずしも悪者ではないとお考え下さい

なにかあれば、遠慮なく小児科スタッフにご相談ください。

平成28年11月25日発行　編集：広報委員会　発行人：河野幹彦

Oh!miya topics
とぴっくす

当院の様々な出来事をお届けします

消防訓練

万が一に備え
定期的に消防訓練を実施しています

出前健康講座

河野病院長・山口管理栄養士が
高血圧と糖尿病の健康講座を出前しました

症例検討会

地域の先生方にもご参加いただき、
様々な症例の発表・検討を行っております

病院敷地内全面禁煙

当院は受動喫煙対策義務を定めた健康増進法を受け
敷地内全面禁煙となっております
皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします

出前健康講座 依頼募集中

地域の皆さまの健康づくりを推進するため、
常陸大宮済生会病院の職員が皆さまのところへ
お伺いし、健康に関する講話や健康相談を行います。

- 日時：応相談
- 会場：常陸大宮市内（ご用意いただいた会場へお伺いします）
- 費用：無　料
- 開催希望の1ヶ月前までにお申し込み下さい

お問い合わせ　0295-52-5151　総務課までお気軽にお問い合わせください。

社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 茨城県済生会
常陸大宮済生会病院

〒319-2256 茨城県 常陸大宮市 田子内町３０３３番３
☎0295-52-5151 FAX 0295-52-5725

診療科目
内科 / 循環器内科 / 呼吸器内科 / 消化器内科
内分泌・代謝内科（糖尿病・脂質異常症） / 小児科 / 外科
消化器外科 / 整形外科 / 脳神経外科 / 泌尿器科
肛門外科 / 形成外科 / 皮膚科 / 放射線科

外来受付時間
午前 8:30～11:00（祝日を除く）月～金土
※ 診療科により受付時間・曜日が異なる場合がありますのでお問い合わせください。

休診日
土曜日（第2・4を除く）、日曜日、祝日

予約の変更は
午後 3:00～5:00 月~金
☎0295-52-5151 予約担当

http://ho-saisei.jp
お知らせ・休診情報
最新情報はこちらで